



在校生に向けた メッセージ

三角さん 自分の夢ややりたいことがあると思います。その夢は自分で思い続けたいと叶わないと思うので、夢ややりたいことを忘れずに学校生活を送っていただきたいなと思います。そして、保護者のみなさんがそれを後押ししてあげる環境を作っていただきたいなと思います。

谷田部さん 子どもたちには、素直で正直に、毎日楽しい日々を過ごしてほしいです。尊敬できる先生方や、一生の友だちをこの一小で見つけ、狛江が大好きな素敵な大人になってください。

近藤さん 一小は150周年なので、みなさんのお父さんお母さん、おじいさんおばあさん、ひいおじいさんひいおばあさんもこの学校で学んでいるくらい、歴史のある学校なんですよ。そのことは今いるみんなにはあまりピンと来ないかもしれないけれど、いずれ大きくなったときに、一小出身ですという人に出会うと思いますし、その確率はかなり高いです。その時に、一小の校歌と一緒に歌える。僕もそんな経験が何回もあります。「多摩

のながれに」のフレーズだけで気持ちがひとつになれるということがあったりします。今、一小で学んでいることを胸に刻んで、一小生であることが自慢になるように、毎日楽しく過ごしてください。

荒井さん 小学生のときは、勉強にしろスポーツにしろ、ずっと挑戦し続けていると思います。卒業して大人になるにつれ、どこかで諦めてしまうこともあるかもしれませんが、諦めてもなお、挑戦し続けてほしいと思います。校歌の二番に「狛江の森にかぎりなく ひびきゆたかにわく泉」とあるように、狛江は水と緑のまちだと思います。大人になっても、水と緑のまちで育ったということを忘れずに、挑戦し続けて頑張ってください。



当時の一小校舎